

病棟担当薬剤師との連携による AST 業務の負担軽減に向けた取り組み

1. 研究対象

当院で VCM（バンコマイシン）の投与を受けた患者さん

2. 研究目的・方法

長野市民病院では AST（抗菌薬適正使用支援チーム）所属の薬剤師は 2 名であり、専従者はおらず他業務と兼務しながら業務を行っています。日本化学療法学会からは、300～500 床の病院における AST 担当薬剤師の活動時間の推奨時間は週 52 時間となっていますが、当院薬剤部における業務時間内での AST 関連業務時間は 6～7 時間程度です。今回、AST 担当薬剤師の業務軽減の一環として、AST 担当薬剤師が行っていた VCM（バンコマイシン）の TDM（薬物血中濃度モニタリング）業務の一部を病棟担当薬剤師へ移行しました。AST 担当薬剤師の業務軽減時間に関しては、VCM の TDM を実施した任意の患者さんから 10 名程度を選択の上、TDM に要した 1 患者さんあたりの平均時間を算出し、年間の TDM 実施件数を用いることで算出します。また、本移行により VCM の使用状況に影響を与えていないことを確認するために、移行前後における VCM の使用状況の比較を行います。

※薬剤の中には、有効域（薬が効果を示す血液中の濃度の幅）が非常に狭く、血液中の薬物濃度がその有効域を超えてしまうと、今度は副作用のリスクが高まります。このような薬剤に対しては血液中の薬物濃度を評価しながら治療を行う必要があります。VCM もこれに該当する薬剤の一つとなっています。この血液中の濃度を測定しながら薬物の投与量を調節する作業が TDM に該当します。

研究期間：倫理申請許可日 ～ 2026 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる情報の種類

以下の臨床情報を取得します。

診療録より：VCM の血中濃度、年齢、体重、腎機能など VCM の TDM を行うために必要な情報。レセプトデータから抽出した VCM の使用量や使用日数など。

4. 外部への情報提供

研究成果の学会、論文などにおける発表に際しては、研究対象者皆さんの個人情報が入院外に漏れることが無いよう十分に配慮します。

5. 研究組織

長野市民病院 薬剤部

6. 問い合わせ先

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡ください。

また、本研究の対象となる方またはその代理人より、情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な処置を行いますので、その場合も下記へご連絡をお願いいたします。

尚、研究不参加を申し出られた場合でも、不利益をうけることはありません。ただし、お申し出をいただいた時点で既に研究結果が学会、論文などで公表されていた場合等には結果を破棄できない場合もあり、引き続き使わせていただくことがあります。

長野市民病院 臨床試験運営事務局

電話番号：026-295-1199